

ヘイトクライムから ジェノサイドへの途

-今こそ人種差別撤廃法の制定を-

Zoom (ウェビナー) 開催

2022.4.23.Sat
15:00-17:00

2020年、川崎市「ふれあい館」に在日コリアンの虐殺を宣言する「年賀」ハガキが届きました。同年より新型コロナウイルスが世界中で流行すると、欧米ではアジア系を狙った差別行為が繰り返され、日本国内においても中国人への差別が続出しました。そして、2021年7月には愛知県及び奈良県の民団、8月には京都にある在日コリアンコミュニティ「ウトロ」が放火されるという事件が起きました。

今、日本社会はヘイトスピーチが日常化し、明確なヘイトクライムが続発しながらも、それを止める法制がない危険な状態です。

差別の放置、それはジェノサイド（大量虐殺）という極限にまで達する恐れがあることを歴史が語っています。本シンポジウムでは、差別が「ホロコースト」を生んだ過去から、なぜ包括的な差別撤廃法が必要なのかについて共に考えていきましょう。

申し込み

(締め切り:4月21日)

<https://bit.ly/3wHkR2e>



プログラム

- ・ 講演: 「人種」的憎悪から大量虐殺へ
～ヘイトスピーチ規制の不可避性～
...金子マーティンさん (日本女子大学名誉教授)
- ・ 活動報告ーヘイトクライム対策提言と人種差別撤廃法モデル案を中心に
...師岡康子事務局長
- ・ シンポジウムコーディネーター:
丹羽雅雄共同代表

金子マーティンさん プロフィール:

1949年イギリス生まれ。1956年初来日。オーストリア国籍。日本国在留資格：永住者。
日本女子大学名誉教授、反差別国際運動事務局次長。主な書籍：『神戸・ユダヤ人難民1940-1941』（みずのわ出版、2003年）、『ロマ民族の起源と言語』（解放出版社、2021年）

※嫌がらせやネットでの中傷等を目的とした参加、および差別主義団体関係者の参加は固くお断りします

(お問い合わせ) info@gjhr.net